保存フォーラムの30回の軌跡 －テーマ・演題・講師一覧－

回次	開催日	テーマ	演題・講師（肩書は当時のもの）
第1回	1990年12月14日	紙の劣化と脱酸の効果について	大江礼三郎氏（東京農工大学教授）
第2回	1991年2月13日	新しい大量保存システム－米国FMC社の脱酸・紙強化法－	R・ウェディンジャー氏（FMC社）
第3回	1991年9月25日	大量脱酸技術のあたらしい展開－米国議会図書館からの報告－	ドナルド・シベラ氏（米国議会図書館保存研究室長） ジェラルド・ギャーベイ氏（米国議会図書館大量脱酸プログラム責任者）
第4回	1992年1月24日	マイクロフィルムの保管、保存	岩野治彦氏（富士写真フイルムK.K.足柄研究所部長部員）
第5回	1992年3月26日	資料保存－これまでの課題、これからの課題－	ニコラス・バーカー氏（英国図書館人文・社会科学部門稀覯書担当部長）
第6回	1993年3月12日	大量脱酸法－Wei T'o法について－	リチャード・スミス氏（Wei T'o Associates, Inc社長）
第7回	1994年3月18日	大量脱酸システムの今－世界の図書館から－	大江礼三郎氏（東京農工大学名誉教授）
第8回	1994年6月13日	貴重書のための書庫環境について	見城敏子氏（日本文化財環境研究所室長）
第9回	1996年3月7日	インドネシアおよびスリランカの資料保存活動について－両国立図書館を中心に－	ガルジート氏（インドネシア国立図書館納本保存センター手稿本整備課長） N・ガラゲデラゲ氏（スリランカ国立図書館資料保存課長）
第10回	1997年3月17日	再生紙の利用と資料保存	岡山隆之氏（東京農工大学農学部助教授）
第11回	1998年9月9日	もしもの時に何で消す－図書館・文書館における消火設備－	「消火設備の現状と今後の動向」 斉藤直氏（自治省消防庁消防研究所第三研究部長） 「建築設計者の立場から見た消火設備」 木野修造氏（木野建築設計事務所所長） 「消火設備設置状況に関するアンケート」結果報告 竹内秀樹（国立国会図書館調査及び立法考査局）
第12回	1998年11月25日	オーストラリア国立図書館における保存管理－課題と将来展望－	コリン・ウェッブ氏（オーストラリア国立図書館情報保存管理監）
第13回	2000年3月13日	防災計画をつくる－具体化のためのノウハウとは－	小川雄二郎氏（アジア防災センター所長）
第14回	2001年2月26日	図書館・文書館の環境管理－IPM（総合害虫防除計画）を中心に－	木川りか氏（東京国立文化財研究所保存科学部主任研究官）
第15回	2003年3月10日	災害に備える－図書館資料の防災と救済計画－	尾立和則氏（京都造形芸術大学芸術学部歴史遺産学科助教授）
第16回	2004年2月27日	災害と情報ネットワーク－日本における資料被災情報ネットワーク形成に向けて－	小松芳郎氏（全国歴史資料保存利用機関連絡協議会資料保存委員会委員長、松本市文書館長）
第17回	2005年2月10日	資料の災害対策－予防と緊急対応－『文化財防災ウィール』をどう受け止めるか	内田俊秀氏（京都造形芸術大学芸術学部歴史遺産学科教授）
第18回	2007年9月28日	マイクロフィルムを長期保存するために－劣化の仕組みとその対策－	講義「マイクロフィルムの長期保存　－劣化とその対策」 楢林幸一氏（コダック株式会社シニアリサーチャー） 報告「国立国会図書館における所蔵マイクロ資料の緊急劣化対策」 村本聡子（国立国会図書館収集部資料保存課）
第19回	2008年9月11日	害虫を入れない・増やさない－図書館における総合的有害生物管理－	講義「図書館における総合的有害生物管理（IPM）とは」 木川りか氏（東京文化財研究所保存修復科学センター生物科学研究室長） 報告「国立国会図書館におけるトラップモニタリング調査報告」 宇野理恵子（国立国会図書館収集書誌部資料保存課）
第20回	2009年10月6日 2009年10月7日	フォーラム1 オランダにおける保存研究プロジェクト フォーラム2 オランダ王立図書館所蔵特別コレクション『紙の歴史』をめぐって	ヘンク・ポルク氏（オランダ王立図書館専門サービス・資料部付保存科学者兼オランダ王立図書館所蔵『紙の歴史』コレクション学芸員）
第21回	2010年11月5日	図書館・文書館における資料防災	開会にあたって「資料防災をめぐる状況と国立国会図書館の取組」 中村規子（収集書誌部司書監、IFLA/PACアジア地域センター長） 講演1「図書館・文書館の防災」 小川雄二郎氏（BOSAIインターナショナル代表） 講演2「被災資料の救済」 青木睦氏（国文学研究資料館准教授）
第22回	2011年12月1日	中国、韓国、オーストラリア、日本における資料防災：国立図書館からの報告	報告1「中国における資料防災」 李翠薇氏（中国国家図書館国家古典籍保護センター事務局副主任） 報告2「韓国国立中央図書館における資料防災と協力活動」 李貴馥氏（韓国国立中央図書館主席コンサバター） 報告3「オーストラリア国立図書館における資料防災」 ジェニファー・ロイド氏（オーストラリア国立図書館保存サービス課長） 特別報告「震災からの再生を目指して～岩手県における図書館の被災と復旧・復興支援」 酒井久美子氏（岩手県立図書館長） 報告4「国立国会図書館における資料防災及び東日本大震災の被災地支援」 中村規子（国立国会図書館収集書誌部司書監）

回次	開催日	テーマ	演題・講師（肩書は当時のもの）
第23回	2012年12月20日	地震に対する図書館の備え－良かったこと、分かったこと－	講演「地震による書架の転倒及び資料落下防止策について」 　柳瀬寛夫氏（株式会社岡田新一設計事務所、日本図書館協会施設委員会委員） 事例報告1「宮城県図書館の経験から」 　熊谷慎一郎氏（宮城県図書館企画管理部企画協力班主事） 事例報告2「図書館の防災を考える　－東日本大震災と福島県の状況から－」 　吉田和紀氏（福島県立図書館企画管理部専門司書） 事例報告3「東北学院大学図書館事例報告」 　佐藤恵氏（東北学院大学図書部図書情報課） 事例報告4「事例報告　国立国会図書館東京本館」 　松井一子（国立国会図書館収集書誌部資料保存課課長補佐）
第24回	2013年12月5日	持続可能な環境管理－図書館・文書館の資料を中心に－	講演「書庫・収蔵庫の温度湿度管理」 　佐野千絵氏（東京文化財研究所保存修復科学センター保存科学研究室長） 事例報告1　国立公文書館 　中村愛子氏（国立公文書館業務課保存係長） 事例報告2　東京都立中央図書館 　眞野節雄氏（東京都立中央図書館資料保全専門員） 事例報告3　国立国会図書館 　河上健二（国立国会図書館収集書誌部資料保存課主査）
第25回	2014年12月5日	続けられる資料保存－まねしてみたいマネジメントの工夫－	講演「続けるコツ、繋ぐコツ－京都大学の資料保存」 　古森千尋氏（京都大学文学研究科図書館職員）
第26回	2015年12月18日	その展示、本を傷めていませんか？－保存と展示の両立を考える－	講演「紙資料の展示環境」 　加藤雅人氏（東京文化財研究所文化遺産国際センター国際情報研究室長） 実例報告1 一橋大学附属図書館 　福田名津子氏（一橋大学附属図書館研究開発室） 実例報告2 印刷博物館 　石橋圭一氏（印刷博物館） 実例報告3 熊本県菊陽町図書館 　松本和代氏（菊陽町図書館） 事例報告4 国立国会図書館 　山口佳奈（国立国会図書館収集書誌部資料保存課）
第27回	2016年12月7日	デジタル時代の資料保存－英国ボドリアン図書館と一橋大学社会科学古典資料センターの事例から－	講演「ボドリアン図書館におけるデジタル化への資料修復アプローチ：支援と保存」 　ヴァージニア・リィヤドブイサン氏（オックスフォード大学ボドリアン図書館コンサベーション&コレクションケア部門長） 事例報告1「西洋古典資料の媒体変換と原本の保存」 　床井啓太郎氏（一橋大学社会科学古典資料センター専門助手） 事例報告2「国立国会図書館におけるデジタル化と資料保存部門の役割」 　高橋幸伸（国立国会図書館収集書誌部資料保存課保存企画係長）
第28回	2017年12月21日	図書館資料を守るIPMの実践	講演「図書館における虫菌害対策―最近の動向―」 　佐野千絵氏（東京文化財研究所保存科学研究センター長） 事例報告1「九州大学附属図書館とIPM」 　原賀可奈子氏（九州大学附属図書館） 事例報告2「埼玉県立図書館のIPM実践」 　神原陽子氏（埼玉県立久喜図書館） 事例報告3「国立国会図書館におけるIPM実践事例報告」 　山口佳奈（国立国会図書館収集書誌部資料保存課）
第29回	2018年12月21日	図書館建築と資料保存	講演「資料収蔵施設の建築と設備」 　青木睦氏（国文学研究資料館准教授） 事例報告1「東京大学経済学部資料室における建築設計の考え方」 　小島浩之氏（東京大学大学院経済学研究科講師） 事例報告2「東京都立多摩図書館―施設からみる予防的資料保存対策」 　眞野節雄氏（東京都立中央図書館資料保全専門員） 事例報告3「国立国会図書館の3施設の概要―資料保存の観点から」 　小澤恵美子（国立国会図書館収集書誌部資料保存課保存企画係長）
第30回	2019年12月19日	収蔵資料の防災―日頃の備え・災害対応・連携協力	報告1「地域史料の防災対策－埼玉県内の取り組みを中心に－」 　新井浩文氏（埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸主幹） 報告2「鳥取県における災害時の県諸機関及び自治体の連携」 　網浜聖子氏（鳥取県立図書館長） 報告3「歴史資料ネットワークの活動と広域連携」 　加藤明恵氏（神戸大学大学院人文学研究科特命助教、歴史資料ネットワーク事務局） 報告4「文化財防災ネットワーク推進事業の概要と今後の展望」 　岡田健氏（独立行政法人国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室長） 報告5「国際図書館連盟（IFLA）における資料防災と海外事例」 　佐藤従子（国立国会図書館収集書誌部司書監、IFLA/PACアジア地域センター長）